

みんなと違うからって黙らない。



—違う国の人たちと話すことで、日本社会の特徴に気付くこともあるのではないかでしょうか。

学校の掃除は子どもがやるのに、家ではママ任せ、なぜ?



—日本人の男の同級生から、部活で使う服や弁当を全部ママに準備してもらっていたという話を聞いて驚きました。海外のメディアで日本では小学生の時から自分たちで教室を掃除するという話題がよく取り上げられますが、家庭だと全部ママがやるのなんですか? モンゴルでは学校の掃除は専門の人がやるけど、家庭では子どもたちが結構やるので、ママにそんなに負担はかかりません。

根岸 私は高校時代、1年間イギリスに留学していました。ホストファミリーは子ども

若いうちは冒険したい
戻れる場所があるから

テム 日本人の男の同級生から、部活で使う服や弁当を全部ママに準備してもらっていたという話を聞いて驚きました。海外のメディアで日本では小学生の時から自分たちで教室を掃除するという話題がよく取り上げられますが、家庭だと全部ママがやるのなんですか? モンゴルでは学校の掃除は専門の人がやるけど、家庭では子どもたちが結構やるので、ママにそんなに負担はかかりません。

根岸 私は高校時代、1年間イギリスに留学していました。ホストファミリーは子ども

学校の掃除は子どもがやるのに、

家ではママ任せ、なぜ?



—女性へのステレオタイプな考え方もパapaの3倍稼いでいるし、何か相談するならまずママに話しますね。

魚住 昨年、フランスで7ヶ月、有償ボランティアの活動をしていたのですが、経験的に「この地域の人、この宗教の人は、こういふ考え方なんだろな」と無意識に働いてしまいます。それがあるから、配慮もできていません。その人たちは、人間関係がうまくいくこともあります。もうちょっと深い関係を築こうとすると、その思い込みが壁になることもありました。

テム 女性へのステレオタイプな考え方もパapaの3倍稼いでいるし、何か相談するならまずママに話しますね。

魚住 昨年、フランスで7ヶ月、有償ボランティアの活動をしていたのですが、経験的に「この地域の人、この宗教の人は、こういふ考え方なんだろな」と無意識に働いてしまいます。それがあるから、配慮もできていません。その人たちは、人間関係がうまくいくこともあります。もうちょっと深い関係を築こうとすると、その思い込みが壁になることもありました。

—違う国の人たちと話すことで、日本社会の特徴に気付くこともあるのではないかでしょうか。

きょう23日から29日は、男女共同参画週間。
1999年6月23日、男女共同参画社会基本法が公布・施行されたことを踏まえ設けられました。それから26年、社会はどう変わったのでしょうか。海外の事情にも詳しい富山大学国際交流サークルの学生4人に、今の日本社会をどう感じているのか聞きました。



自分と違う人がいてあたりまえ。

「女の子なんだからお手伝い」に違和感



—子どものころから今までを振り返って、男だから、女だからと言われたり、性別や国籍などの属性を理由に制限を受けたりしたことはありますか?

根岸 行動を制限されることまではないですが、親せきが集まつたりする時、母親たちは料理を作つたり運んだりしますよね。そんな時、「女の子なんだからちゃんとやらなきゃ」と言われたことがあって「男の子だったらやらなくていいの?」と思った記憶があります。

米田 親世代には「若い女性=きれい。だから結婚は若いうちにしたほうがいい」という意識があるのを感じます。内心ふざけんなと思ってますけど。女性って別にきれいだけが価値じゃない。芸術作品じゃないんだから。その人の仕事ぶりとか、性格とかも大事。そもそも年齢関係なく、女性はいつまでもきれいでいられると思つています。

テム 女性へのステレオタイプな考え方もモンゴルも同じです。ただ一つ違うのは、モンゴルの家庭では、女性のほうが経済的にも精神的にも男性よりもパワフル。私のママもパパの3倍稼いでいるし、何か相談するならまずママに話しますね。

魚住 昨年、フランスで7ヶ月、有償ボランティアの活動をしていたのですが、経験的に「この地域の人、この宗教の人は、こういふ考え方なんだろな」と無意識に働いてしまいます。それがあるから、配慮もできていません。その人たちは、人間関係がうまくいくこともあります。もうちょっと深い関係を築こうとすると、その思い込みが壁になることもありました。

就活で重視したのは
年功序列ではない会社



—これから働くことになる皆さん、就職する際に重視することは?

—富山県は若い女性の転出が多く、県では仕事に取り組める、年功序列ではないといふ点を重視しました。ここからは私の偏見ですが、富山は県民性として、割と上下関係がしつかりしていて、ルールからみ出ることは良くないみたいな考えが強い。だからこそ社会が安定しているとも言えるけれど。私は自分の意見はしつかり主張したいほうなので、首都圏で就職活動をしました。

テム 私もダイバーシティ(多様性)を重視しています。日本の企業や大学のホームページを見ていると、同じようなおじさんが多いですね。そういう所は嫌だなと思つていて、いろんな人がいる集合体みたいに会社を探しています。

根岸 私はマルチナショナル(多国籍)などこに行きたい。

魚住 しばらくはいろんな国へ行って、人生の冒險をするつもり。自分が少数派になる場所になると、新しい考え方を取り入れ、臨機応変に行動できるようになる。ただ冒險ができるのは、いつでも戻つてこられる環境はあるからなんです。海外に出て思つたのは、階級意識や人種への偏見がまだ残っているヨーロッパに比べれば、日本の労働環境は全然悪くない。さらに富山は自然が豊かで、治安も良くて、すごく暮らしやすい。

テム 時代に適応して、変化できる社会であれば、自分らしく輝けるんじゃないかな。

魚住 変化に対応するということは、まず自分がどんな人も受け入れるということ。誰かにマイノリティーであることを伝えられても「うんうん、そんなんだ」ぐらいの心持ちで答えるべきだ。相手もうれしいだろうし、そこに快適さが生まれると思う。

米田 私は、変化を受け入れ、かつ変化が頻繁に生まれるような環境を、いつか富山に作りたいと思っています。そのためには自分にできることは、意見が他の人と違つていいと主張すること。みんなと違つからって黙らないことかな。

根岸 私ができることは、自分より若い世代に、私が見てきたことや世界のことを伝え、「自分と違う人がいてあたりまえだよ」と教えてあげること。意識を変えられることができたらなと思っています。



協力:富山大学ダイバーシティ推進センター

